

## サトイモのカルテック栽培

(10アール当り)

| 項目           | 時期・方法                       | 資材の使い方   |
|--------------|-----------------------------|--|
| 地力作り         | なるべく早く<br>(植付けまでに20日以上おくこと) | <b>ラクトバチルス</b> 600g… 保水性と通気性がよく、連作の効く地力を作ります<br><b>堆厩肥</b> 2トン (なるべく多く)<br><b>硫安</b> 60kg (もし通常の複合肥料なら、チッソ成分12kg程度)<br>※ただし、ポリ・マルチや、追肥をしない場合は、 <b>硫安 80kg</b> とします。<br><b>硫酸カリ</b> 20kg (堆厩肥が充分入れば カリが補給出来るので、不要)<br>※ラクト・バチルスにより植付け時の土壌EC:0.2以下となります。 |
| 整地時          | 整地前に全面散布<br>(または地力作り時に同時投入) | <b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) 40kg (~60kg)<br>※サトイモは やや酸性(pH:5.8前後)を好みますが、土壌pHを測定して、どちらかを選択・調節して下さい。  |
| 植付け後         | (3~4月)<br>植付け後7日頃           | <b>濃縮酵素液</b> 500倍 灌水… 発根・萌芽・初期伸葉を促進し、土壌障害も軽減。  |
| 追肥<br>(土寄せ時) | (5月~6月)<br>月1回 [計2回]        | <b>硫安</b> 10~20kg (×2回)  |
|              | (7月)<br>3回目の追肥              | 3回目の追肥時には、チッソとカルシウムを同時施用します。<br><b>硫安</b> 20kg<br><b>畑のカルシウム</b> 20kg…子イモ~曾孫イモの着生・充実を促進。   |
| 葉面散布         | (6月~8月)                     | <b>カルテックCa液状</b> 500倍で葉面散布…デンプンの転流, 新イモの充実促進<br>※半月ごとに定期散布。<br>※特に収穫30日前(7~8月)には Caの葉面散布がイモの充実に効果的です。  |

※品種：石川早生。他に大吉，土垂れなどがあります。

※上記は春植え・秋穫りの日程です。秋植え・春穫りの場合は、植付け：10月，収穫：3~4月。